

### 1 突発的な地震発生時の対応について

状況	登・下校時	在校中	校外活動中	在宅時
震度 4 以下	危険を感じる揺れの場合は、安全に気をつけて、自宅か学校のどちらか近い方に移動します。	安全を確認し、通常通り活動します。	安全を確認し、原則計画通り活動します。	登校準備中に危険を感じる揺れがあった場合は、保護者・児童本人の判断を優先して行動します。安全確認後、登校します。
震度 5弱 以上		原則教育活動を中止し、保護者への引き渡しを行います。引き渡しができなかった児童は、学校に留め置きます。		保護者・児童本人の判断を優先して行動します。教育活動については、市や教育委員会と対応を協議し、決まり次第、保護者に連絡します。

### 2 南海トラフ地震臨時情報の発表時の対応について

状況	登・下校時	在校中	校外活動	在宅時
① 調査中 ② 巨大地震注意 ④ 調査終了	安全を確認し、原則通常通り教育活動を継続します。		①②③発表後の実施については、中止・延期を検討します。 活動中に①②③が発表された場合は、活動を中断し帰校します。帰校が困難な場合は、在留する自治体の指示に従います。	原則通常通り登校します。
③ 巨大地震警戒	巨大地震の発生に留意しつつ、校外学習を除いて原則教育活動を継続します。 授業後、安全を確認して下校させます。 部活動を中止にします。 状況に応じて、校長が早下校の判断をし、保護者への引き渡しの措置をとることがあります。			原則通常通り登校します。
「③巨大地震警戒」が発表された場合、状況を確認し、校長の判断で臨時休校の措置をとることがあります。その際は、市や教育委員会と連携し、その後の対応を協議します。				

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合、状況に応じて以下のキーワードで南海トラフ臨時情報が発表されます。

南海トラフ地震臨時情報	キーワード	情報発表条件
	① 調査中	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	② 巨大地震注意	南海トラフ地震想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合等
	③ 巨大地震警戒	南海トラフ地震想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合等
	④ 調査終了	巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合